

## 平成31年1月分（1件）

### 【城山公園の動物たちの処遇改善の要望書】

内容	<p>平素より市政にご尽力下さりありがとうございます。</p> <p>2017年までに当会に館山市管理の城山公園における猿やキバタンについての通報が相次ぎ、2017年夏ごろから貴市職員の方々へのご提案をさせていただいておりました。</p> <p>しかし、2018年度予算での改善ができず、また今後は指定管理制度を利用されることに変更される見込みであること、今後も改善のための予算取得は難しいとのことをお教えいただきました。</p> <p>また、当会としても何度か城山公園に足を運び、動物たちの状況が一向に良くなっていないことを把握しております。</p> <p>これまでの貴市職員のご尽力は重々承知しておりますが、現状を踏まえ、改めて、以下要望いたします。</p> <p>■ニホンザルについて</p> <p>知能が高く、高い社会性を持ち、自然界でも高度な環境で生活するサルですが、現状2頭のサルはあまりに無機質かつ狭く異質な空間に置かれています。特に高齢のメスのサル「ラン」に与えられている、斜めになった小さな檻はあまりに質素です。</p> <p>また、様々なご提案をしてみましたが、残念ながら効果的なエンリッチメント（飼育動物の幸福な暮らしのための工夫）が行われているとはいえません。</p> <p>サル達は無味乾燥で、刺激のない、退屈な環境に置かれています。</p> <p>寄附された毛布も汚れがついたことを理由にすでに取り払われております。汚れがつくことは当然ですが、それを洗うこともまた当然必要なことです。現状のシステム、現状の捉え方では、改善を見込むことは難しいと言えます。</p> <p>要望：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 「ラン」の檻を拡大し、行動エンリッチメントを取り入れられる構造に変え、行動エンリッチメントを行うこと</li><li>2. 「ジョー」の檻を拡大し、行動エンリッチメントを行うこと</li><li>3. 2頭に定期的な獣医師の診断を受けさせること</li><li>4. 上記が果たせない場合、獣医師による適切な安楽死を検討すること</li></ol> <p>■キバタンについて</p> <p>キバタンは知能が高く、社会性を持ち、好奇心が旺盛で、行動範囲も広い動物です。健康を保つために運動を一日3時間程度は必要とします。</p> <p>現在の檻は、キバタンがすでに飛ぶことができなくなっている可能性があるほど小さく、あの小さな檻に20年間も入れていた事自体が虐待的行為であると考えられます。</p> <p>さらに、現在20年生きているとのことですが、キバタンは寿命が長く、長ければあと60年の寿命が残っています。その間にサルも、キジバトも、孔雀も亡くなります。館山市は責任を持ってキバタンを飼育できるのでしょうか。</p> <p>要望：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. キバタンを協力を申し出ている鳥の保護団体TSUBASAに、早急に譲り渡すこと</li></ol> <p>■クジャクバトについて</p> <p>裏に置かれているため最新の状況を確認できませんが、2017年に確認させていただいた際には広さ、地面や巣箱（棚）があること等、キバタンよりは良好であったものの、鳥に必要な止まり木がありませんでした。</p> <p>要望：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. もしまだ導入していないようであれば、早急に木でできた止まり木を最低2つは設置すること</li></ol> <p>動物を利用する側には、動物を適切に飼育する義務があります。今、城山公園の動物</p>
----	---

私たちは適切な環境やケアを与えられていません。館山市は過ごしやすく観光客にも人気の市であり、これらの不適切な飼育を継続することは、貴市としても良いこととは考えていらっしゃらないものと存じます。

ご多忙中恐縮ですが、これらの改善提案・要望についてどのような対応をしていただけるか、書面あるいは電子メールにてご回答いただければ幸甚です。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

【H31.1.24 受理】

回答

(1) ニホンザルについて

1. 「ラン」の檻を拡大し、行動エンリッチメントを取り入れられる構造に変え、行動エンリッチメントを行うこと

2. 「ジョー」の檻を拡大し、行動エンリッチメントを行うこと

3. 2頭に定期的な獣医師の診断を受けさせること

4. 上記が果たせない場合、獣医師による適切な安楽死を検討すること

(回答)

「ラン」と「ジョー」につきましては、まずは譲渡先を探すことに全力を挙げています。

その間の飼育環境の改善については、可能な環境改善を行います。

(2) キバタンについて

1. キバタンを協力を申し出てくれている鳥の保護団体 TSUBASA に、早急に譲り渡すこと

(回答)

キバタンにつきましては、TSUBASA 様に連絡をとることも含め、譲渡に向けて動いています。

(3) クジャクバトについて

1. もしまだ導入していないようであれば、早急に木でできた止まり木を最低2つは設置すること

(回答)

クジャクバトにつきましては、平成29年10月に亡くなり現在はおりません。

今後もサルやキバタンにとって、よりよい飼育環境を求めるための方策を検討してまいります。

【H31.2.6 回答】